

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和元年11月22日（金） 15時00分～16時20分
3. 場所：原子力規制庁 18階 会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

木原管理官補佐、星主任研究調査官

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当者2名

5. 要旨

○原子力規制庁から、東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関して、資料に基づき、Cs137の1号機放出量と3号機放出量の推定方法の内容並びに3号機の耐圧強化ベントを成功と判定した回数とその根拠等の確認を行った。

○東京電力ホールディングス株式会社から、資料を基に当時の推定方法の内容及び評価の根拠等について回答があった。

○原子力規制庁から、10月15日に提示した「今後の調査、分析に必要と考えている事項」の対応状況について確認するとともに、それらの提出の手順についても東京電力ホールディングス株式会社と調整することとした。

6. 資料

- 福島第一原子力発電所事故における放射性物質の大気中への放出量の推定について（平成24年5月東京電力株式会社）
- 3号機格納容器からの漏えいと大量の蒸気放出について（平成29年12月25日 福島原子力事故における未確認・未解明事項の調査・検討結果-第5回進捗報告-東京電力ホールディングス株式会社）

以上